

神奈川工科大学 KAITスタジアム

所在地：神奈川県厚木市下荻野1030
規模：野球場1面／両翼95m、中堅120m
人工芝面積／12,483m²
設計：(有)桂建築設計事務所
電気工事：東芝ライテック(株)
完成：平成19年3月



横浜スタジアムと同じ人工芝を採用した両翼95m、センター120mの本格的な大学のグラウンド。高演色・高効率のHID投光器搭載の照明柱6基により、公式競技にも対応した快適なナイター設備を実現

横浜スタジアムとメジャーリーグの球場を参考に独自設計された多目的スタジアム

新時代を牽引できる優秀な技術者育成を目指して教育・研究が実践されている神奈川工科大学。その教育・研究のために、快適で充実した施設環境を提供する再開発が進められています。すでに完成したバイオサイエンスセンターをはじめ、自動車工学棟、ロボットプロジェクト棟、KAIT工房など、それに横浜スタジアムと同じ人工芝を採用したKAITスタジアム。両翼95m、センター120mの規模で、ナイター設備、スコアボードも完備されています。

M1.5kW投光器搭載の高さ約19mの照明柱6基によるナイター設備

ナイター設備は、グラウンド周囲6カ所に地上約19m高さの照明柱（コンクリートポール）が設置され、照明架台には演色性、発光効率の優れた1.5kWメタルハライドランプ投光器（中角形・耐塩耐食形）を照明柱1基当たり21台を4段にして設置。平均照度は内野席で約1200lx、外野席で約700lxが得られており、内野と外野の照度比は2：1以下の滑らかな変化でプレイしやすい良好な照明環境が創り出されています。それと同時に平均演色評価数Ra：65以上、色温度4000Kのさわやかな白色光により人工芝を鮮やかなグリーンで彩っています。

また、スコアボードは高輝度、長寿命、低消費電力の橙単色LED方式が採用され、チーム名表示、得点表示、合計得点表示、判定表示から構成されています。LED方式スコアボードを採用したことにより、観客、プレイヤーに対して分かりやすい表示が行えると共に、高輝度のため、夜間時の使用にも明るく、鮮明な表示を実現しています。

KAITスタジアムに隣接して設けられた室内練習場の照明は、400Wメタルハライドランプ高天井用反射笠器具を防球ネット上部に地上約7m高さにして、2列に配置しています。



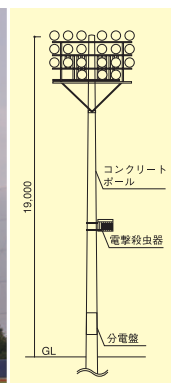
横浜スタジアムと同じ人工芝を採用した本格的施設



1塁側からレフト方向を望む



19m高さの照明柱



照明柱正面図



橙単色LED方式のスコアボードを採用



KAITスタジアムに隣接して設けられた室内練習場

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
グラウンド	投光器	HT-15263M	126	1.5kWメタルハライドランプ
屋内練習場	高天井用反射笠器具	SN-10044A	24	400Wメタルハライドランプ

■LEDスコアボード（縦6,900mm、横16,600mm、奥行1,400mm）

表示部名称	素子形状	素子ピッチ	素子構成（ドット）	表示色
チーム名	22mm角	32mmピッチ	縦16×横48	橙
イニング得点			縦7×横7	橙
合計得点	34mm角	60mmピッチ	縦7×横5×2窓	
判定表示部	φ310（電球式）		S:2灯（黄色）、B:3灯（青色）、O:2灯（赤色）、H・E・Fc（赤色）	